



発行所 磐城日日新聞社
電話 小名濱 31355
編集人 高瀬 芳郎
発行人 長瀬 芳郎

新人要望の聲高し

小名濱町議戦動も出す

参院補欠選挙が漸やく終末を告げると共に迎春四月には待望の地方選挙が開始される。参院選挙は従来から低調を極めていたのは全国的傾向といつてよいが、地方選挙は縣市町村の首長及び議員を選出するので直接地方政治に關連し立候補もまた地方民に顔なじみも多い關係から、選挙のうち最も興味と関心があつても、それだけに選挙戦も非常にむずかしいといわれている。ところが、こと小名濱に於ては親戚や縁故の少ないのや金のないものは立候補しても当せんしないという風習が常識化され俗に親族議員といふ異名もある。これが新人の出馬を困難ならしめる原因であり小

議員の横顔

平支局 梅野生



幽明境を異にする
天國の人「高木 喬氏」
高木喬氏は去る二月十六日忽ち如として脳溢血にたおれ議員の横顔が申しました。高木氏は、世の



岩城史を推薦する

小浜 常司

小名濱高等學校の高萩精玄先生が、鹿島村の志賀義氏所蔵の古寫本「岩城史」に校註を加えて海外協會から刊行された。岩城史といふのは岩城二代鳥居一代内藤六代といわゆる岩城九代史であつて、更に校註者は、その後の資料を収集して井上、安藤二家についても巻末に補として付け加えている。一讀して感ずる事は、原文としての

君をして荒蕪流連の夢中におとし入れ酒食の霧中に彷徨せしむ。「申生死してシノ國亂れ扶掖せられて秦國傾く。」一語に出づるものゝに、八右衛門の志賀義氏、彦右衛門は皆漢書を殺せしものなり。天命明かにして遂に彼らをして自ら殺さしむ。奇なるかな、これを見るに、誰か天道非なりといふものあらんや。等の如くである。内容は岩城氏の人封から石森觀音堂の創立由來、尼子對平の架橋、鳥居氏の入封平城築城の次第、丹後澤

投票率六割七分

小名濱の選挙成績

選挙の年廿六年のトップを走つて行われた参院補欠選挙も月余に亘り各候補も一悶に華々しく、かつ前回の教育委員選挙

湯本高校長 篠原氏に決定

湯本高校長死亡により、湯本町の中心地である三

映画教室

湯本三座座で「カルメン」のジャン・マレエ主演

天気概況

【今日】北西の風、大体系ありましう

田中興行部タルマ市特別上映々畫
14日-16日
悲戀 フランス映畫 NO.1 銀映
情熱のルムバ
急募!! 印刷見習工員 二十歳以下
ナガセ印刷所
13日-14日
どろつき船 大映家快時代劇

六戸四棟を全焼す

拂焼湯本の火事(原因は)

十一日午前五時頃湯本町三坂道員、植頭正男(三九)氏方物置から発火、同家はじめ備湯、大木正吉(五〇)酒類販賣、田中久次郎(六四)同業、田中光勝(二六)あんま業、加藤儀藏(三九)靴修理業、高野光(四六)の六戸四棟を全焼、午前六時三十分頃火、損害約百万円、原因は目下調査中であるが類焼をまぬかれた

同所の少年某(一四)外、数名が家に隠れず植頭氏方の物置に泊り焚火をしたとの不始末らしい現場の近くには寺鐘造元、藤田醫院、植頭義典、愛生堂薬局などが、寺鐘も一時危ぶまれたが同町常備消防、同消防員、常備隊、磐城村湯本署員らの協力により類焼をまぬかれた

日米式自動警報器をとりよせ実地につき試験中であつたがその効果百パーセントの折紙をつけ價格も低廉なので一般に對して推薦している

① 盗賊が戸を開け又は電線を切れば急に警報ベルがなる

② 安價で確實に働く耐久品です、器械は一式で千七百円取つけ並に使用法については警察署が無料で解説しており盗賊防止のために各戸毎に設置されるよう警察では要望している

二十六年度小名浜港 修築豫算内示

計上額二千八百六十万円

二十六年度小名浜港修築豫算は二千八百六十万円が計上される旨運輸省港湾局よりこのほど小名浜港工事事務所へ内示があつた、同事務所では右予算に基づいて百米の防波堤構築と魚市場前の暗渠除去作業を計上している、防波堤の構築は三崎地内より内防波堤に向う線内防波堤より三崎に向う線、東沖防波堤の東側延長線の三子定規線あり、潮流関係と砂土の堆積及構築技術面と地元の意向を汲み何れの線を選定するか目下検討中であるが本港専門技術官と打合せの上三月末までは最後の決定が行われる筈である

泥棒殺しの 珍器出現

小名浜警察署では頻々と起る盗難や強盗等の事件も予防の努力によつてはある程度の防止も出来るとの見解からこの度たのである。

然し彼にはそれが口に出せなかつた。自分は彼女に値しないという卑下感もあつたし、何より彼は、或る場合にはどうして男に必要があつたらぬか、彼も愛する子供も知らない内に、教室の花がとりかえられていたが、それを見かねた教師のまわりが整頓されてお互いの気がつきあつた。

四月近い夜の歌の歸りだつた。花には早くまだ肌寒い浅春、月はなごりからともなく、夜光虫を見ようという事になつて、本道から直ぐつづいて防波堤に出たのである。

夜光虫は波の動きにつれて、光の縞を作つて、燐光色に揺れ又消えた。寄り添うようにして二人は永いこと、盛り上がる波、くだける波とそれにつれて千變萬化する夜光

失對に積極的奔走

對策委各方面に呼かく

小名浜町失業對策委員会二十日に限定その間に對するは去る十一日午後三時より町役場町長室に於いて小野(作)委員長、金澤副委員長、馬場の各委員に長瀬副町長、馬場、土木課長、草野係員出席の上開催第四四半期分はすでに立替拂いを終了して居るので今後は第二中學校々々整理に一應就勞させるが就勞人員は六十八名におさへ二月中は月

小説 雲遙かなり

伊納川 銀

善悪必ずしも二下のはあきんに片づけて貰つた浩介は、氣疲れを感じながらも寝る氣になれず、飲み残していつた酒を冷やのままで口にくみながら戸外の闇に見入つていた。燈の届かぬ松林のあたり、影がすかに闇に揺れる。善悪の化物といつた長田の言葉が、今ゆくりなく浩介の、秘めて人に語らぬ昔の憶い出を呼び起した

浩介にも青春はあり戀もあつた。その頃浩介の勤めていた學校に柏木瞳子という若い先生がいた。美貌で清楚なもので、物にこたえられない明らかな顔つき、子供達の人氣が勿論若く、男子教師の人氣も身に集つてゐた。浩介も一人、論その一人であり、才智を内に蓄めた教養の深さに對しては、尊敬を超えて淡い戀心を抱いて

康子にも彼の心が通じた。たの、彼も愛する子供も知らない内に、教室の花がとりかえられていたが、それを見かねた教師のまわりが整頓されてお互いの気がつきあつた。

四月近い夜の歌の歸りだつた。花には早くまだ肌寒い浅春、月はなごりからともなく、夜光虫を見ようという事になつて、本道から直ぐつづいて防波堤に出たのである。

「先生は早法よ。」

そのまゝ、ぱつと彼女はかけ出してしまつた。あつた。あつた。あつた。あつた。あつた。

江前戸 金時 小名浜駅前 料理

電話 二一八

魚類販賣店

實海 青葉の皆々様

毎度御愛顧

有難う御座います

佐藤秀夫商店

湯本町日渡六〇番地

三輪車は オリエント

(御相談に應じます)

小名浜町本町

壽 元 商 會

秋 元 且 吉

電話二〇九番

富ヶ浦病院

院長 安田善一

副院長 佐藤正

小名浜町中坪

電話三三番

特選歓迎

小名浜 港

電話 四七五

松屋洋品店

湯本町上町

近火見舞御禮

信濃洋服店

信濃 源 吉

湯本町上町二三〇

近火見舞御禮

吉田商店

吉田 三 男

湯本町上町二三〇

近火見舞御禮

大江商店

湯本町上町一〇六

近火見舞御禮

丸丹百貨店

湯本町上町

近火見舞御禮

近火見舞御禮	近火見舞御禮	近火見舞御禮	近火見舞御禮	近火見舞御禮	近火見舞御禮
松屋洋品店	吉田商店	信濃洋服店	大井川正己	菅家徳壽	比佐恒雄
湯本町上町一〇五	湯本町上町二三〇	湯本町上町二二〇	湯本町上町二一〇	湯本町上町一〇六	湯本町三國二二七
近火見舞御禮	近火見舞御禮	近火見舞御禮	近火見舞御禮	近火見舞御禮	近火見舞御禮
松屋洋品店	吉田商店	齋藤美容院	大井川正己	比佐恒雄	丸丹百貨店
湯本町上町一〇五	湯本町上町二三〇	湯本町上町一三五	湯本町上町二二〇	湯本町三國二二七	湯本町上町